

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 31 年 3 月 2 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490200635		
法人名	株式会社 富山学園		
事業所名	グループホーム ほのぼの苑 江波气象台入口		
所在地	〒730-0834 広島市中区江波二本松2丁目10-22 TEL 082-295-5575		
自己評価作成日	平成31年1月24日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3490200635-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search">http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3490200635-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search</a>
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成31年2月18日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

ご本人様やご家族の要望に沿ったケア・身体機能に応じたケア・笑顔に繋がるケアを職員間で統一し実践するようにしています。  
食事はグループホーム内ですべて手作りをし、お誕生日などはご本人のお好きな物を提供しています。また、キッチンからの匂いや音などから、毎回の食事を楽しみにして頂く事も大切にしています。  
当グループホームは、江波山の麓に位置し、春は桜・秋は紅葉と季節を感じる事が出来る様な生活をして頂いており、ホーム内にある中庭でも季節を感じていただける工夫をしています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

自然環境に恵まれた当事業所は、利用者・家族および職員の「五感を呼び覚まし、明日への生きる力」につなげる住環境の整備が特記される。運営母体の法人は、現在5カ所のグループホームを運営しており、当事業所は三番目に開設され、それ以前のホームの利点、改善点をこのホームのハード・ソフトの両面に集約して理想の展開としている。広い敷地を活用して、平屋・2ユニットの、イロハの「ロの字型」の設営と「中庭の活用」に工夫を凝らしている。個々の利用者の生活歴と意向に沿いながら、家事、野菜づくり、外出、地域交流など、家庭的な雰囲気の中で楽しく過ごせる支援と事業所理念を具現化している。医療との連携体制も整備され、認知症専門医の医療機関（2カ所）からの定期的往診もあり、医師同士の連携も図られ、緊急時も24時間連絡体制がとれ、本人・家族の希望に応じて事業所内で看取りも充実させている。

自己評価	外部評価	項目( さくらユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	職員全員で作った理念を、毎朝の朝礼で出勤職員全員で唱和し、理念に添った支援が行えるように心がけている。年度初めにはみんなで項目について考えるようにしてる。	職員の総意で発案された理念「地域との交流を図り、家庭的な雰囲気の中でお互いに感謝の心を持ち、楽しく笑顔で過ごせるよう日々取り組む…」を定期的な会議の中でも、業務実践の振り返りを行い、更なる浸透と精度を高めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	町内会に入会し、地域の行事に参加させて頂くとともに、地域の方々にもボランティアにお越しいただき交流をしている。認知症カフェの声掛けを頂いており、都合つく場合は参加している。	月一度「生花教室」にボランティアの先生の指導と事業所の行事の際には、地域住人が来所されピアノ・大正琴などの演奏がある。地域の高校生によるインターンシップでの来訪もあり、日ごろ地域交流を強化し、今後は「認知症カフェ」の開催を検討している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域の方の質問や相談などに、随時応じている。施設見学会を年に数回開催し、来訪者の方々の相談も受けている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月ごとの運営推進会議にて、日々の提供しているサービス、苑の行事などを報告している。また、会議で頂く意見は、スタッフ会議で全職員に伝達し、今後のサービス向上に繋げていくようにするつもりでいる。	運営推進会議には家族、地域包括支援センター、町内会長、地区社協等の参加もあり、その中で地域の行事や催し、食事のカルシウムの摂取法を教えてもらうなど、会議での意見を運営に活かしている。また、推進会議は「福祉用具」「健康体操」など、内外の方でテーマに沿って話すなど、内容の充実を図っている。	
5	4	○市町との連携  市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	地域包括支援センターの職員の方と、運営推進会議の時に情報交換を行い連携をとっている。	運営推進会議に地域包括支援センターの職員が出席し、その際に事業所の状況などを伝えており、日頃から連携を図り協力関係を築いている。介護保険課については、分からないことがあれば連絡を行うなどしている。	

自己評価	外部評価	項目( さくらユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<b>○身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	基本的には身体拘束は行っていない。自由に行動できるよう支援している。玄関は施錠しているが、希望があれば開錠し散歩なども出来るように努めている。	身体拘束は行っておらず利用者個々の状態に応じたケア、対応の工夫もあり、センサーマットを使用している方もいる。職員一人ひとりが身体拘束をしないケアについて周知し、実践している。玄関は防犯上のため施錠している。	
7		<b>○虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	施設内で職員を対象に3か月に一度研修を行っている。必要に応じて虐待チェックリストを使い、日々の業務内で言動に問題はないか確認する時間を設けている。		
8		<b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	研修会の伝達報告会にて情報を共有している。		
9		<b>○契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時は管理者・計画作成担当者が出席し、十分な説明を行っている。説明後も、ご家族の不安・疑問点を尋ね、理解や納得をしていただけるよう努めている。		
10	6	<b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営推進会議などで頂くご意見、面会時に頂くご意見やご要望は、出来るだけ早急に日々の運営に反映させる様にしていきたいと思っている。	運営推進会議や面会時に、ご家族に意見をいただくなど、運営に活かしている。主に個々の利用者に対しての要望が中心となっている。	

自己評価	外部評価	項目( さくらユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎月行われるスタッフ会議に本社社長が出席し、意見や提案を聞き、今後の運営に役立たせるように努めている。</p>	<p>職員の意見や提案により、体操のDVD、カラオケセット、流動食用ボトルを購入するなどの事例がある。日頃から職員の意見に耳を傾け、運営に活かしサービスの質の向上を図っている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>代表者は、賞与等に日頃の努力、実績を反映させ、職員の向上心を上昇させるべく整えている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>本社にて研修会を設け参加している。また、必要と思える外部研修にも個別に対応してもらっている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>地域包括支援センターを中心として、地域のGH事業者交流会にも参加し情報交換・サービスの質の向上に努めている。</p>		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>入居前面談で、ご本人の思いをお聴きするようにしている。入居されてからは、特に関わりを密に持ち、その思いを傾聴していくことで安心できる環境を整えている。</p>		

自己評価	外部評価	項目( さくらユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>入居前にご本人やご家族の困りごとや身体機能・認知症状をお聞きする。把握した上で必要な支援を考え、入居後には出来るだけの関わりを持ち馴染の関係作りに力を入れている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>ホーム内で出来る支援以外のサービスを必要とされる場合は対応したいと思っており、リハビリの必要な方に外出もかねて、リハビリ施設に出かけて頂いている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>ご利用者様と一緒に掃除・洗濯・料理などの作業を行い、ともに生活をしているという意識の中で業務を行っている。また、助け合っていると言う思いを言葉にしていくこともしている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>面会等にこられた折に現状を報告し、今のご本人の思いをご家族にお伝えして、ご家族とホームの職員が一緒になって支援するよう心がけている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>馴染みの場所へ出かけたり、面会にお越しいただいたりすることで、関係の維持に努めている。</p>	<p>病院、墓参り、お寺など馴染みの場所への外出を事業所の対応や家族の協力により行っている。面会は家族だけでなく、近所の人や地域のクラブ活動の仲間の人に来られることがある。また、利用者の要望によりお孫さんに手紙を出すことや、家族に電話をするなど、関係が維持できるよう支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目( さくらユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	出来るだけ良い関係を保てるように気をつけている。お互いが労わり合ったり助け合ったりされながら、下膳や掃除・洗濯物畳などをされている。		
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	サービス利用が終了されても、必要に応じて相談や援助に応じられるようにしている。近所にお住まいの方には、お会いした時にご家族の様子をお聞きしている。		

### Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	アセスメント表などから一人ひとりの意向の確認を行ったり、普段の会話の中から真意を把握するようにしている。また、意思疎通の困難な方にはご家族などから頂いた情報を基に、職員間でカンファレンスなどを行い情報を共有し、ご本人本位の支援ができるようにしている。	受け持ち担当職員を決めており、利用者との日頃の関わりの中から思いや意向を把握するようにしている。食事、立ち上がり等、日常生活動作やレクリエーション、家事など生活の様々な場面を細かく観察し、日々の変化に気づき、本人の意向に応じた対応、支援をしている。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居前にご本人やご家族の要望や思いを傾聴し、馴染みの生活を考慮し環境を整えている。また、入居前のサービス提供者の方より情報を頂いている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	個人の現状を十分に把握した中で、プランを計画実施し、お一人おひとりに合った生活を送っていただいている。また、状況の変化等記録に残して職員全員で把握できるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目( さくらユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>必要時には施設長・看護師・介護職員を交えてカンファレンスを行うようにしている。立案時には、ご本人やご家族の意向などをお聞きして、現状に即したプランを作成している。毎日の様子をモニタリングに反映できるようにかかわっており、モニタリングは次のケアプランに生かしている。</p>	<p>本人、家族の意向や利用者の受け持ち職員の意見をもとに介護計画作成者が中心となり、ケアプランを作成している。利用者の状態を把握し、日々の気づきが関係書式に織り込まれているため、現状に即した内容の計画になっている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>ケアプラン実施記録用紙を作成して日々の様子や気づきなどを記入するとともに、プラン立案に役立たせている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>受診の付き添いをはじめ、買い物などの付き添いにも出かける。また、ご本人の行きたいところなどに出掛ける外出支援を行っている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域の行事に参加させていただいたり、関わりのある方々との面会等もお願いして、穏やかに生活を楽しんでいただけるよう支援している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>ご家族やご本人が希望される医療機関への受診・往診を行っている。看護師による医療連携も行われており、適切な治療が受けられるように支援している。時にはご家族と一緒に受診し、納得いくように説明を聞く事もある。</p>	<p>入居時にご本人、ご家族の希望を伺いかかりつけ医を決めている。定期的に往診に来られる2か所の協力委を千択される方がほとんどである。歯科は週1回、眼科は3ヶ月に1回往診に来られるなど、適切な医療が受診可能な体制もあり、事業所の看護師を中心に医療機関と連携を図っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目( さくらユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>看護師が勤務の時には、夜勤帯での気づきは申し送りで報告し、日勤帯での気づきはその都度報告している。看護師は、個々のかかりつけ医と相談の上、適切な看護を行っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>ご利用者様が入院された場合は、ホームでの生活・医療等の情報提供を必ず行い、継続できることはお願いしている。また、たびたび面会に行かせていただく中で、ご本人の容態をお聞きしながら早期退院が出来るようにお願いもしている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>契約時には、重度化についての説明を行い、必要時にはご利用者様の容態を考慮した上で、ご家族様・主治医・職員で話し合いを重ね、今後の方針を決めていくことにしている。ご家族の意向に沿ったケアを心がけている。また、看取りについてももしっかりとした経過報告を行いながら実施している。</p>	<p>提携の2医療機関の協力のもと、事業所で看取りを行える体制が取れている。看取り時にはご家族、医療機関、職員で話し合いを行い、今後の方針を決め、職員間で情報共有し、適切なケアを実施している。希望に応じ、家族が共に事業所に宿泊可能な体制整備ができています。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>毎月行われるスタッフ会議で、急変時・事故後の対応の仕方や訓練を行っている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>本社指導の下、夜勤勤務者には防火管理者講習の受講を義務付け意識の向上を図るとともに、毎月一回は日・夜勤帯でそれぞれ消防避難訓練を行っている。</p>	<p>年2回の避難訓練を行っており、毎月1回、日勤・夜勤帯での消防訓練を行っており各職員が避難方法を身につけている。 備蓄は食料、水、ガス、ガスコンロ等があり、災害時に備えている。事業所と地域との防災協定があり、災害時お互いに協力する体制がある。</p>	

自己評価	外部評価	項目( さくらユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	お一人おひとりの自尊心を大切にさせていただきながら、対応している。排泄時には出入口のドアは閉める・排泄の声かけは大きな声で言わない・入浴介助は出来るだけ同性介助を行うなどプライバシーの保護には十分な注意を払いながら対応させていただいている。	職員は利用者の個々の人格を尊重し、親しみの中にも適度な距離感を持ち、方言を活かした上で丁寧な声かけ、対応を行っている。職員の関わりで気になることがあれば、直ぐに指導を行ったり、個別面談などで思いを聞きながら、より適切な関わりを行うよう事業所で取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	声掛けを行う場合、職員の思いを伝えるのではなく、まずご本人がどうしたいかを思っているのかを確認する事を心がけている。必要であれば、場所を変えるなどの工夫もしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	一日のスケジュールを決めずに、お一人おひとりの体調や希望に沿った生活の支援をしている。会話の中から何がしたいか、体調はどうかなどを把握し、無理の無いように取り組んでいる。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	毎日の更衣の時に、衣服は出来るだけご本人と一緒に選んでいる。また、職員が行う時は、季節にあったもの・調和の取れたものなど気をつけている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	メニューにご利用様様の希望を取り入れつつ、季節の食材を使用し、調理・盛り付け・配膳・片付けを一緒に行っている。お誕生日などはその方の好きな物をメニューに取り入れ楽しみにして頂く様にしている。	三食とも手作りの調理で提供しており、調理専門の職員もいる。職員と利用者が一緒に食事の準備、調理、片付けなどを行い、本人が持てる力を活かしている。また、おやつ作りで桜餅、ホットケーキ、おはぎなどを作ることもあり、食事が楽しみになるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目( さくらユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>毎食の食事摂取量と水分摂取量を記録し、十分な量が確保できているかどうか確認している。また、一人ひとりの咀嚼・嚥下機能に合わせた食事形態や食事時間など対応できるようにしている。食事の好き嫌いには対応し、出来るだけ残されることの無いように工夫している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後には口腔ケアを行い、口腔内の清潔保持に努めている。また、毎週1回は訪問歯科の訪問診療を受けられ、口腔内のチェックを行っていただいている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排尿チェック表を使用し排尿パターンを知り、日中のトイレ誘導を行うことでパットの使用数を減らすように努力している。</p>	<p>日々の記録をもとに利用者の排泄パターンを把握し、個々に応じて排泄への支援を行っている。トイレでの排泄を原則とし、利用者の状態に応じて夜間はポータブルトイレを使用している。各ユニットのトイレにファンレストテーブルが設置され、姿勢保持と残存機能を活かし、安楽に排泄ができる設備が整っている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>便秘症の方には水分摂取量に注意をしているとともに、適度な運動や看護師による腹部のマッサージなどを行っている。食事メニューに食物繊維の多く含まれるものを使用するようにしている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>ご利用者様のご希望に沿った曜日や時間での入浴を行えるようにしている。ゆったりとした時間の中での入浴を実施し、入浴中は手の届かないところを介助させていただいている。出来るだけご自分で出来るところは時間がかかっても行って頂く様にしている。出来るだけ同性介助を行っている。</p>	<p>入浴は週2回行っており、利用者個々の意向、状態に応じて順番や時間を考えるなど、自分のペースで気持ちよく入れるよう工夫している。浴槽は2種類あり、利用者の身体状況に応じて使用できる設備環境が整っている。入浴剤を入れたり、ゆず湯を行うなど入浴を楽しむことができるよう支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目( さくらユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	<p>これまでのご本人の生活習慣を 継続した休息時間を取り入れ、 就寝時間もご本人が眠たくな られた時にお休みいただくよう にしている。 起床時間もまちまちである。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。</p>	<p>薬局から頂くお薬情報を各職員 がいつでも確認できるようにし ており、副作用等についても看 護師より随時伝達があり理解に 努めている。また、内服確認を 確実にを行い状態の変化等につ いても注意している。 また、本人の状態により薬の形 態も変更している。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。</p>	<p>役割ややりがいを持っていただ けるような関わりを心がけてい る。ご本人の嗜好品についても 希望に沿っていけるように努 めている。気候のよい時などは 近所への散歩・ドライブなどで 気分転換を図っている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望に そって、戸外に出かけられる よう支援に努めている。また、 普段は行けないような場所でも 、本人の希望を把握し、家族 や地域の人々と協力しながら 出かけられるように支援してい る。</p>	<p>出来るだけご本人の希望に沿 った外出が行えるようにしてい る。行きたい所を日頃の会話 の中から把握しており、ご家 族や職員の介助で出かけられ ることがある。近所への散歩 は常時行っている。</p>	<p>利用者の意向に基づき、近く のスーパーへの買物、近所へ の散歩、桜鑑賞、マツダスタ ジアムでの野球観戦などを行 っている。家族による外出で 、自宅に帰ったり、墓参り を行うなど日常的に外出が 行えるよう支援している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、 お金を所持したり使えるよう に支援している。</p>	<p>買い物に出掛けられる時には 、支払いをご自分で頂く様に 努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目( さくらユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>電話の使用は自由に出来るようになってきている。また、希望があれば手紙などのやり取りも出来るように支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>常に清潔をモットーにしている。不快な刺激を避けることが出来るように、光・臭いなど気をつけている。中庭には季節の草花を植え、皆様に観賞していただいている。季節に応じた設えも一緒に作成展示している。</p>	<p>「ロの字型」建屋の利点を活かし、中庭を囲んで、回遊動線をつくり、利用者同士の交流の活性化と自然採光に留意されている。中庭にはハナミズキの木々や花、野菜が植わり室内に居ながらにして、四季の変化が体感できる。壁には利用者の作品の掲示もあり、生活感と大人感覚を備えた快適な共有空間である。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>個室で一人になれる空間と、リビングにソファや椅子を設け他の入居者様との交流が出来る空間を設けている。また、団欒を楽しむことが出来るように個々の席の配置にも考慮している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>居室は自由に使用していただいている。入居前に使用しておられた家具などを持ってきていただき、小物などの飾りつけも以前と同じようにすることで、馴染みの空間を作り出している。</p>	<p>空調設備・ベッド、チェスト、カーテンは基本設備で、ご本人の生活上必要な物品などは自由に持ち込まれている。自宅で使い慣れた椅子、テレビや仏壇を持ち込まれた利用者もいる。家族の写真などを飾ったり、本人が居心地よく過ごせるよう環境を工夫している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>4カレンダーや時計などを置き、日付の確認・時間の確認は各自で行ってもらっている。トイレなど場所の確認も分かりやすく表示している。</p>		

自己評価	外部評価	項目(もみじユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	職員全員で作った理念を、毎朝の朝礼で出勤職員全員で唱和し、理念に添った支援が行えるように心がけている。年度初めにはみんなで項目について考えるようにしてる。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	町内会に入会し、地域の行事に参加させて頂くとともに、地域の方々にもボランティアにお越しいただき交流をしている。認知症カフェの声掛けを頂いており、都合つく場合は参加している。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域の方の質問や相談などに、随時応じている。施設見学会を年に数回開催し、来訪者の方々の相談も受けている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月ごとの運営推進会議にて、日々の提供しているサービス、苑の行事などを報告している。また、会議で頂く意見は、スタッフ会議で全職員に伝達し、今後のサービス向上に繋げていくようにするつもりである。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	地域包括支援センターの職員の方と、運営推進会議の時に情報交換を行い連携をとっている。		

自己評価	外部評価	項目(もみじユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<b>○身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	基本的には身体拘束は行っていない。自由に行動できるよう支援している。玄関は施錠しているが、希望があれば開錠し散歩なども出来るように努めている。		
7		<b>○虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることのないよう注意を払い、防止に努めている。	施設内で職員を対象に3か月に一度研修を行っている。必要に応じて虐待チェックリストを使い、日々の業務内で言動に問題はないか確認する時間を設けている。		
8		<b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	研修会の伝達報告会にて情報を共有している。		
9		<b>○契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時は管理者・計画作成担当者が出席し、十分な説明を行っている。説明後も、ご家族の不安・疑問点を尋ね、理解や納得をしていただけるよう努めている。		
10	6	<b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営推進会議などで頂くご意見、面会時に頂くご意見やご要望は、出来るだけ早急に日々の運営に反映させる様にしていきたいと思っている。		

自己評価	外部評価	項目(もみじユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月行われるスタッフ会議に本社社長が出席し、意見や提案を聞き、今後の運営に役立たせるように努めている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	代表者は、賞与等に日頃の努力、実績を反映させ、職員の向上心を上昇させるべく整えている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	本社にて研修会を設け参加している。また、必要と思える外部研修にも個別に対応してもらっている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	地域包括支援センターを中心として、地域のGH事業者交流会にも参加し情報交換・サービスの質の向上に努めている。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居前面談で、ご本人の思いをお聴きするようにしている。入居されてからは、特に関わりを密に持ち、その思いを傾聴していくことで安心できる環境を整えている。		

自己評価	外部評価	項目(もみじユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	入居前にご本人やご家族の困りごとや身体機能・認知症状をお聞きする。把握した上で必要な支援を考え、入居後には出来るだけの関わりを持ち馴染の関係作りに力を入れている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ホーム内で出来る支援以外のサービスを必要とされる場合は対応したいと思っており、リハビリの必要な方に外出もかねて、リハビリ施設に出かけて頂いている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	ご利用者様と一緒に掃除・洗濯・料理などの作業を行い、ともに生活をしているという意識の中で業務を行っている。また、助け合っているという思いを言葉にしていくこともしている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	面会等にこられた折に現状を報告し、今のご本人の思いをご家族にお伝えして、ご家族とホームの職員が一緒になって支援するよう心がけている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	馴染みの場所へ出かけたり、面会にお越しいただいたりすることで、関係の維持に努めている。		

自己評価	外部評価	項目(もみじユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。</p>	出来るだけ良い関係を保てるように気をつけている。お互いが労わり合ったり助け合ったりされながら、下膳や掃除・濯物量などをされている。		
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。</p>	サービス利用が終了されても、必要に応じて相談や援助に応じられるようにしている。近所にお住まいの方には、お会いした時にご家族の様子をお聞きしている。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	アセスメント表などから一人ひとりの意向の確認を行ったり、普段の会話の中から真意を把握するようにしている。また、意思疎通の困難な方にはご家族などから頂いた情報を元に、職員間でカンファレンスなどを行い情報を共有し、ご本人本位の支援ができるようにしている。		
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。</p>	入居前にご本人やご家族の要望や思いを傾聴し、馴染みの生活を考慮し環境を整えている。また、入居前のサービス提供者の方より情報を頂いている。		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。</p>	個人の現状を十分に把握した中で、プランを計画実施し、お一人お一人に合った生活を送っていただいている。また、状況の変化等記録に残して職員全員で把握できるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目(もみじユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>必要時には施設長・看護師・介護職員を交えてカンファレンスを行うようにしている。立案時には、ご本人やご家族の意向などをお聞きして、現状に即したプランを作成している。毎日の様子をモニタリングに反映できるようにかかわっており、モニタリングは次のケアプランに生かしている。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>ケアプラン実施記録用紙を作成して日々の様子や気づきなどを記入するとともに、プラン立案に役立たせている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>受診の付き添いをはじめ、買い物などの付き添いにも出かける。また、ご本人の行きたいところなどに出掛ける外出支援を行っている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域の行事に参加させていただいたり、関わりのある方々との面会等もお願いして、穏やかに生活を楽しまただけよう支援している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>ご家族やご本人が希望される医療機関への受診・往診を行っている。看護師による医療連携も行われており、適切な治療が受けられるように支援している。時にはご家族と一緒に受診し、納得いくように説明を聞く事もある。</p>		

自己評価	外部評価	項目(もみじユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<b>○看護職員との協働</b> 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	看護師が勤務の時には、夜勤帯での気づきは申し送りで報告し、日勤帯での気づきはその都度報告している。看護師は、個々のかかりつけ医と相談の上、適切な看護を行っている。		
32		<b>○入退院時の医療機関との協働</b> 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ご利用者様が入院された場合は、ホームでの生活・医療等の情報提供を必ず行い、継続できることはお願いしている。また、たびたび面会に行かせていただく中で、ご本人の容態をお聞きしながら早期退院が出来るようにお願いもしている。		
33	12	<b>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所で行えることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	契約時には、重度化についての説明を行い、必要時にはご利用者様の容態を考慮した上で、ご家族様・主治医・職員で話し合いを重ね、今後の方針を決めていくことにしている。ご家族の意向に沿ったケアを心がけている。また、看取りについてもしっかりとした経過報告を行いながら実施している。		
34		<b>○急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	毎月行われるスタッフ会議で、急変時・事故後の対応の仕方や訓練を行っている。		
35	13	<b>○災害対策</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	本社指導の下、夜勤勤務者には防火管理者講習の受講を義務付け意識の向上を図るとともに、毎月一回は日・夜勤帯でそれぞれ消防避難訓練を行っている。		

自己評価	外部評価	項目( もみじユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	お一人おひとりの自尊心を大切にさせていただきながら、対応している。排泄時には出入口のドアは閉める・排泄の声かけは大きな声で言わない・入浴介助は出来るだけ同性介助を行うなどプライバシーの保護には十分な注意を払いながら対応させていただいている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	声掛けを行う場合、職員の思いを伝えるのではなく、まずご本人がどうしたいかを思っているのかを確認する事を心がけている。必要であれば、場所を変えるなどの工夫もしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	一日のスケジュールを決めずに、お一人おひとりの体調や希望に沿った生活の支援をしている。会話の中から何がしたいか、体調はどうかなどを把握し、無理の無いように取り組んでいる。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	毎日の更衣の時に、衣服は出来るだけご本人と一緒に選んでいる。また、職員が行う時は、季節にあったもの・調和の取れたものなど気をつけている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	メニューにご利用者様の希望を取り入れつつ、季節の食材を使用し、調理・盛り付け・配膳・片付けを一緒に行っている。お誕生日などはその方の好きな物をメニューに取り入れ楽しみにして頂く様にしている。		

自己評価	外部評価	項目(もみじユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>毎食の食事摂取量と水分摂取量を記録し、十分な量が確保できているかどうか確認している。また、一人ひとりの咀嚼・嚥下機能に合わせた食事形態や食事時間など対応できるようにしている。食事の好き嫌いには対応し、出来るだけ残されることの無いように工夫している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後には口腔ケアを行い、口腔内の清潔保持に努めている。また、毎週1回は訪問歯科の訪問診療を受けられ、口腔内のチェックを行っていただいている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排尿チェック表を使用し排尿パターンを知り、日中のトイレ誘導を行うことでパットの使用数を減らすように努力している。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>便秘症の方には水分摂取量に注意をしているとともに、適度な運動や看護師による腹部のマッサージなどを行っている。食事メニューに食物繊維の多く含まれるものを使用するようにしている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>ご利用者様のご希望に沿った曜日や時間での入浴を行えるようにしている。ゆったりとした時間の中での入浴を実施し、入浴中は手の届かないところを介助させていただいている。出来るだけご自分で出来るところは時間がかかっても行って頂く様にしている。出来るだけ同性介助を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(もみじユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	<p>これまでのご本人の生活習慣を 継続した休息時間を取り入れ、 就寝時間もご本人が眠たくな られた時にお休みいただくよう にしている。 起床時間もまちまちである。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。</p>	<p>薬局から頂くお薬情報を各職員 がいつでも確認できるようにし ており、副作用等についても看 護師より随時伝達があり理解に 努めている。また、内服確認を 確実にを行い状態の変化等につ いても注意している。 また、本人の状態により薬の形 態も変更している。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。</p>	<p>役割ややりがいを持っていただけ るような関わりを心がけている。 ご本人の嗜好品についても希望 に沿っていけるように努めてい る。気候のよい時などは近所へ の散歩・ドライブなどで気分転 換を図っている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地域 の人々と協力しながら出かける ように支援している。</p>	<p>出来るだけご本人の希望に沿っ た外出が行えるようにしている。 行きたい所を日頃の会話の中 から把握しており、ご家族や職 員の介助で出かけられること がある。近所への散歩は常時 行っている。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。</p>	<p>買い物に出掛けられる時には、 支払いをご自分で頂く様に努 めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(もみじユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>電話の使用は自由に出来るようになってきている。また、希望があれば手紙などのやり取りも出来るように支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>常に清潔をモットーにしている。不快な刺激を避けることが出来るように、光・臭いなど気をつけている。中庭には季節の草花を植え、皆様に観賞していただいている。季節に応じた設えも一緒に作成展示している。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>個室で一人になれる空間と、リビングにソファや椅子を設け他の入居者様との交流が出来る空間を設けている。また、団樂を楽しむことが出来るように個々の席の配置にも考慮している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>居室は自由に使用していただいている。入居前に使用しておられた家具などを持ってきていただき、小物などの飾りつけも以前と同じようにすることで、馴染みの空間を作り出している。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>カレンダーや時計などを置き、日付の確認・時間の確認は各自で行ってもらっている。トイレなど場所の確認も分かりやすく表示している。</p>		

V アウトカム項目( さくらユニット ) ← 左記( )内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

V アウトカム項目( もみじユニット ) ← 左記( )内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 ほんぼの苑  
江波气象台入口  
作成日 平成 31 年 4 月 1 日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	18	外出が思うようにできず、入居者様が（ご家族からも）要望が出る。	一人一人にあった外出支援が定期的に行えるようになる。	スタッフの体制によるので、体制を整えていくよう、努める。	6ヶ月
2	5	火災訓練は毎月行っているものの、災害時の対応が懸念される。	災害時の避難誘導などの訓練の実施。	消防や町内会の方々に相談し、実際の誘導方法を指導いただく。	6ヶ月
3	3	運営推進会議に出席されるご家族が決まっています。	色々なご家族に参加して頂く。但し、限られた空間なので、数名ずつでも交代で参加していただく。	ご家族への声掛けをこまめにしていく。	1年
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。